

日本栄養専門学校ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

日本栄養専門学校 栄養士科は、豊かな幅広い教育環境を生かして、社会の即戦力となる技術力と人間性に優れ、生涯に渡って「学んだ技術知識を活かして生活していける栄養士」、職業上では「調理とコンピュータのできる栄養士」を養成します。そのために、栄養士に不可欠な資質能力を明確化しそれに基づき、学生は2年間で必要な知識と技術を身につけます。また卒業までには栄養士国家資格以外に「一般社団法人全国料理学校協会認定 料理技術検定上級」「NPO食育インストラクター協会 NPO食育インストラクター3級」を取得します。また上記以外にも以下のような資質能力を身に付けます。

- ・ 単に就職することだけでなく、夢を持ち続けながら業界で長く活躍できる人間を育てる。
- ・
- ・ 目先の小細工ではない、真の技術を習得することのできる基礎力（バックボーン）を養う。
- ・
- ・ 常に栄養士として尊敬される人間性を養う。
- ・
- ・ 学ぶ楽しさを経験することにより、常に学ぶ姿勢を続けることのできる探求心を養う。
- ・
- ・ 夢を実現するための野心を持ち続けられる精神力を養う。

本校は、上記の資質能力形成のためにカリキュラム（教育課程）を編成しています。また、各授業で定めた成績評価の方法に基づき、学修成果を厳格に評価し、単位を授与します。なお、本学に2年以上在学し、所定の89単位を修得した生徒を卒業認定会議で審議し認定した者を卒業とする。また卒業生には専門士（学校教育学）の学位を授与します。